

大学基準協会の認証評価結果を受けて

関西学院大学は、財団法人大学基準協会で2006(平成18)年度に受けていた相互評価および認証評価において、「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2014(平成26)年3月31日までとする」と認定されるとともに、本学に対する提言を含む評価結果を受け取りました。

関西学院大学は、従来の自己点検・評価とは一線を画した「新たな自己点検・評価」の取り組みを2004年度から始めました。2006年3月には全881ページにおよぶ「関西学院自己点検・評価報告書2005」(以下「報告書」)を刊行するとともに、本学ホームページに「報告書」と「大学基礎データ2005」を公表しました。

大学基準協会による認証評価は、2006年3月の「報告書」および「大学基礎データ」などの調書と資料の提出から始まり、10月の大学基準協会による西宮上ヶ原および神戸三田キャンパスにおける実地視察、2007年1月の評価結果(原案)の提示とそれに対する本学の意見申立を経て、2007年3月13日に評価結果が本学に通知されました。

評価結果の「総評」では、「建学の理念・目標を専門分野と結び付けて、具体的かつ明快な教育・研究目標を設けている」などの評価を得るとともに、自己点検・評価の体制について、「報告書は、おおむね記述の仕方や説明が明解かつ網羅的である」「精力的かつ誠実に作成された報告書である」との評価を得ました。各部局が精力的に点検・評価に取り組んだことが評価されたと考えています。

「大学に対する提言」については、「長所として特記すべき事項」として7項目を指摘いただきました。「総評」での指摘もあわせて「長所」と評価された点をさらに伸張させるよう取り組んでまいります。

同じく「大学に対する提言」のなかで、8項目の「助言」を受けました。「助言」が付された事項については重く受け止め、積極的に改善に努めてまいります。

関西学院大学では、今回の認証評価の結果を真摯に受け止め、改めてこれまでの自己点検・評価の取り組みを検証し、PDCAサイクルをより一層強化し、毎年度の自己点検・評価活動を通して、教育・研究活動の充実をはじめとする改善を進めて、大学の質の向上に取り組んでまいります。同時にその結果を公表し、社会に対して明確な説明責任を果たしていきたいと考えています。

最後になりましたが、今回の認証評価の実施にあたり、大学基準協会の方々や、評価者として本学の評価に携わってくださった方々に改めて感謝の意を表したいと思います。

2007年3月28日

関西学院評価推進委員会委員長
関西学院院長 畑 道也